

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 日本郵船株式会社
 コード番号 9101 URL <http://www.nyk.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 泰三
 問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 宮本 教子
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト及び機関投資家向け)

上場取引所 東 名

TEL 03-3284-5986

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	528,470	10.7	6,751	△1.8	11,465	137.6	8,567	—
25年3月期第1四半期	477,597	6.7	6,872	—	4,824	—	△1,330	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 35,350百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △25,035百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.05	—
25年3月期第1四半期	△0.78	—

(注) 当第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載していません。また、前第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がなく、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,484,904	730,864	27.4	401.47
25年3月期	2,430,138	697,979	26.8	383.50

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 680,972百万円 25年3月期 650,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,070,500	13.4	19,500	9.1	24,000	83.4	13,500	—	7.96
通期	2,138,500	12.7	46,500	166.7	50,000	181.9	30,000	58.8	17.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

④ 修正再表示

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,700,550,988 株	25年3月期	1,700,550,988 株
26年3月期1Q	4,353,657 株	25年3月期	4,334,011 株
26年3月期1Q	1,696,207,515 株	25年3月期1Q	1,696,281,689 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提 :

為替レート(第2四半期)98円/US\$、(第3四半期・第4四半期連結会計期間)95円/US\$、(通期)96.43円/US\$

燃料油価格(第2四半期)US\$620/MT、(第3四半期・第4四半期連結会計期間)US\$640/MT、(通期)US\$635.87/MT

本業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2~6ページを参照してください。

当社は平成25年7月31日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び配布する決算説明資料等につきましては、開催後速やかに当社ホームページ(http://www.nyk.com/release/IR_explanation.html)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
4. その他の情報	14
(1) 四半期毎の業績の推移	14
(2) 為替情報	15
(3) 燃料油情報	15
(4) 有利子負債残高	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間)の業績は、連結売上高5,284億円(前年同期4,775億円)、営業利益67億円(同68億円)、経常利益114億円(同48億円)、四半期純利益85億円(前年同期四半期純損失13億円)となりました。

(概況)

当第1四半期連結累計期間においては、米国で緩やかな景気回復の兆しが見られた反面、欧州経済の低迷、中国・インド等の経済成長の鈍化等により、世界経済の先行きは不透明な状態が続きました。日本国内は、日銀による大規模な金融緩和策の下、円安・株高が進行し、企業収益も改善の動きが見られるなど景況観は徐々に回復してきました。

海運業界においては、船舶の供給過多により拡大した需給ギャップの解消にはいまだ至らず、海運市況は低迷を続けました。当社グループは、減速航海の適用範囲を全船種に広げ、燃料消費量削減にグループ一丸となって取り組むなど、コスト削減に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安の影響もあり前年同期比508億円増(10.7%増)となりましたが、営業損益は前年同期比1億円減(1.8%減)となりました。経常損益は円安効果による為替差益等により前年同期比66億円の増益(137.6%増)となり、四半期純損益は損失を計上した前年同期から98億円の改善となり利益を計上しました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替レートと燃料油価格の前第1四半期連結累計期間からの変動は以下のとおりです。

	前第1四半期 (3ヶ月)	当第1四半期 (3ヶ月)	差額
平均為替レート	80.77 円/US\$	97.72 円/US\$	16.95 円 円安
平均燃料油価格	US\$716.78/MT	US\$643.46/MT	US\$73.32 安



(注) 為替レート・消費燃料油価格とも、当社社内値です。

(セグメント別概況)

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間)のセグメント別概況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	売上高				営業利益			経常利益			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	
一般 輸送 事業	定期船事業	1,378	1,485	106	7.7%	3	△20	△24	△8	△6	2
	航空運送事業	203	201	△1	△0.9%	△3	△22	△18	△7	△24	△17
	物流事業	878	1,047	168	19.1%	5	1	△3	12	5	△6
	不定期専用船事業	2,086	2,304	218	10.5%	68	109	41	51	132	80
そ の 他 事 業	客船事業	86	108	21	25.2%	△11	△4	6	△12	△5	6
	不動産業	25	24	△0	△3.5%	9	7	△1	10	9	△0
	その他の事業	438	459	21	4.9%	△2	△5	△3	1	3	1

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。報告セグメントの変更に関する情報は、13ページを参照してください。

<定期船事業>

コンテナ船部門では、東西航路の積高が伸び悩む一方、相次ぐ新造大型船の竣工とこれに伴う他航路での船型大型化により供給圧力が強まり、全般的に運賃は下落しました。

サービス面では、G6アライアンスが当期から提携を北米東岸航路に拡大し更なる合理化とサービス網の拡充を進め、アジア航路では顧客のニーズに合わせて大規模な改編を行いました。加えて、燃費効率の良い新造大型コンテナ船の稼働開始や個船単位のきめ細かい運航管理により、船費や燃料費の削減に注力し、またコンテナ単位の精緻な費用管理を徹底しました。

ターミナル関連部門の国内外コンテナターミナルの総取扱量は前年同期比増加しました。

以上の結果、定期船事業全体では、前年同期比増収となりましたが、経常損失はほぼ前年並みとなりました。

<航空運送事業>

日本貨物航空(株)は、継続的なコスト削減と機材の機動的運用に努めましたが、長引く欧州経済の停滞や日本発航空貨物の荷動き低迷による運賃下落が大きく影響し、前年同期に比べ業績は悪化し、損失を計上しました。

<物流事業>

航空貨物は、日本発をはじめ世界的に取扱いが低調でした。海上貨物は、取扱量は増加しましたが、収益性は厳しい状況が続きました。ロジスティクス事業は、米国や南アジア・オセアニアで比較的堅調であった一方、欧州では経済低迷の影響を受け低調に推移しました。また、日本近海の旅客・貨物輸送は好調でした。物流事業全体では、前年同期比増収減益となりました。

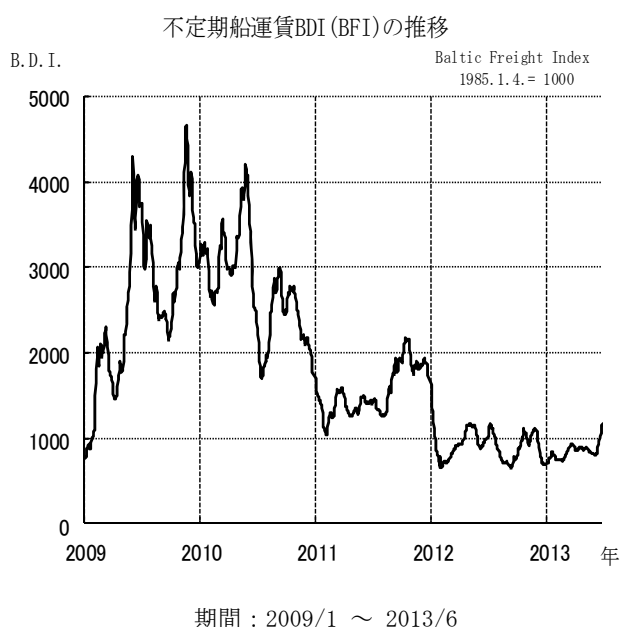
<不定期専用船事業>

自動車船部門では、主として北米の好調な自動車販売等を背景に、当社の完成車輸送台数は前年同期比で増加しました。また、減速航海や効率的な運航の徹底を図り燃料費削減に努めました。

ドライバルカー部門では、鉄鉱石・石炭輸送を中心に荷動きは増加しましたが、新造船の大量竣工による船腹過剰が続く、全船型・全水域で市況は低迷しました。こうした中、長期安定契約を増加させると同時に、減速航海の徹底を進めコスト削減に取り組みました。また、貨物の組み合わせや配船の工夫によりバラスト航海を減らすなど、収支の向上に努力しました。

タンカー部門では、シェールガス革命の進展により北米向けの原油需要が減る一方で新造船の竣工が続く、需給ギャップは拡大、市況は低迷しました。石油製品・LPGタンカーの市況は、荷動きの増加により若干の回復が見られ、LNG船は安定的な収益を生む長期契約に支えられ順調に推移しました。海洋事業では当社初のFPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)が本年6月からブラジル沖で原油生産を開始しました。

これらの結果、不定期専用船事業全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。



<客船事業>

北米市場のクリスタル・クルーズは前年同期比で売上高を大きく伸ばしました。日本市場の飛鳥クルーズは、やや伸び悩みましたが、客船事業全体では前年同期比増収となり、損失額は減少しました。

<不動産業、その他の事業>

不動産業は、オフィスの賃料水準の低下及び空室率の増加等により、前年同期比で減収減益となりました。

その他の事業は、新造船向け舶用品の販売不振や船舶関連工事等の受注が減少しましたが、円安により主力の船舶向け燃料油の売上高が増加するなど、部門全体の売上高は増収となり、経常利益段階で増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて547億円増加し2兆4,849億円となりました。負債合計額は、前連結会計年度末に比べて218億円増加し1兆7,540億円となりました。これは、主に支払手形及び営業未払金と前受金が増加したことによります。純資産の部では、利益剰余金が56億円増加し、株主資本7,051億円とその他の包括利益累計額の合計である自己資本が6,809億円となり、これに少数株主持分498億円を加えた純資産の合計は、7,308億円となりました。これらにより、有利子負債自己資本比率(D/Eレシオ)は1.90となりました。

なお、上記で述べている前連結会計年度末の数値は、当第1四半期連結会計期間より適用の会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及適用した数値です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 連結業績予想

今後の見通しにつきましては、コンテナ船部門では全般的に運賃水準は期初の想定を下回って推移する見込みであり、減速航海やきめ細かな各種コスト削減活動を推進しますが、収支は引き続き厳しい状況が続くと予想します。ドライバルカー市況は下期にかけて若干の改善を見込むものの全体的に低迷状態が続くと予想しており、減速航海による燃料消費量の削減を徹底するなど収支の改善に努めていきます。自動車船部門及びタンカー部門のLNG船は引き続き順調に推移する見通しです。

全体としては、円安効果等もあり、第2四半期連結累計期間と通期の業績は以下のとおり改善を見込んでいます。

(単位：億円)

		前回予想 平成25年4月30日	今回予想	増減額	増減率
第2四半期 連結累計 期間	売上高	10,400	10,705	305	2.9%
	営業利益	170	195	25	14.7%
	経常利益	145	240	95	65.5%
	四半期純利益	70	135	65	92.9%

通期	売上高	20,900	21,385	485	2.3%
	営業利益	455	465	10	2.2%
	経常利益	400	500	100	25.0%
	当期純利益	270	300	30	11.1%

業績予想の前提：

為替レート（第2四半期）98円/US\$、（第3四半期・第4四半期連結会計期間）95円/US\$、（通期）96.43円/US\$
 燃料油価格（第2四半期）US\$620/MT、（第3四半期・第4四半期連結会計期間）US\$640/MT、（通期）US\$635.87/MT

② 配当予想

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付けています。当事業年度（平成26年3月期）の配当金は、中間及び期末ともに1株当たり2円、年間配当金4円とする予定で変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

国際会計基準(IAS)第19号「従業員給付」(平成23年6月16日改訂)が、平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、一部の関係会社では改訂後のIAS第19号を適用しています。当該会計方針の変更に伴い、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。

なお、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	176,939	163,283
受取手形及び営業未収入金	222,532	230,788
有価証券	127,042	131,046
たな卸資産	64,603	68,455
繰延及び前払費用	60,353	69,911
繰延税金資産	4,872	5,013
その他	81,140	86,733
貸倒引当金	△2,437	△2,069
流動資産合計	735,047	753,163
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	900,342	935,355
建物及び構築物(純額)	73,926	76,309
航空機(純額)	22,651	22,336
機械装置及び運搬具(純額)	33,119	34,978
器具及び備品(純額)	6,203	6,260
土地	64,391	64,544
建設仮勘定	180,138	161,744
その他(純額)	5,652	5,912
有形固定資産合計	1,286,426	1,307,442
無形固定資産		
借地権	3,958	4,306
ソフトウェア	7,649	7,643
のれん	23,173	23,972
その他	4,226	4,189
無形固定資産合計	39,008	40,111
投資その他の資産		
投資有価証券	251,891	268,319
長期貸付金	17,857	18,995
繰延税金資産	6,613	6,616
その他	96,249	93,347
貸倒引当金	△3,579	△3,684
投資その他の資産合計	369,033	383,594
固定資産合計	1,694,468	1,731,148
繰延資産	622	592
資産合計	2,430,138	2,484,904

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	180,680	186,749
1年内償還予定の社債	—	20,000
短期借入金	127,013	132,458
未払法人税等	5,469	4,105
繰延税金負債	6,578	6,864
前受金	53,515	60,840
賞与引当金	7,105	7,717
役員賞与引当金	314	219
独禁法関連引当金	1,632	1,705
その他	71,892	67,289
流動負債合計	454,201	487,951
固定負債		
社債	245,445	225,445
長期借入金	911,920	910,672
繰延税金負債	33,657	35,876
退職給付引当金	16,189	16,382
役員退職慰労引当金	1,983	1,688
特別修繕引当金	16,707	16,154
その他	52,053	59,868
固定負債合計	1,277,957	1,266,088
負債合計	1,732,158	1,754,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,319	144,319
資本剰余金	155,619	155,618
利益剰余金	401,561	407,164
自己株式	△1,998	△2,002
株主資本合計	699,502	705,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,050	35,263
繰延ヘッジ損益	△34,705	△28,890
為替換算調整勘定	△43,423	△29,530
在外関係会社の年金債務調整額	△933	△971
その他の包括利益累計額合計	△49,011	△24,128
少数株主持分	47,488	49,892
純資産合計	697,979	730,864
負債純資産合計	2,430,138	2,484,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	477,597	528,470
売上原価	426,926	472,366
売上総利益	50,671	56,104
販売費及び一般管理費	43,799	49,352
営業利益	6,872	6,751
営業外収益		
受取利息	443	574
受取配当金	1,535	1,676
為替差益	—	3,364
持分法による投資利益	1,866	2,513
その他	1,255	1,671
営業外収益合計	5,099	9,800
営業外費用		
支払利息	4,227	4,683
為替差損	2,726	—
その他	192	403
営業外費用合計	7,147	5,086
経常利益	4,824	11,465
特別利益		
固定資産売却益	2,166	1,427
投資有価証券売却益	—	572
その他	428	702
特別利益合計	2,594	2,702
特別損失		
固定資産売却損	61	689
減損損失	—	1,665
投資有価証券評価損	4,408	—
その他	287	446
特別損失合計	4,757	2,800
税金等調整前四半期純利益	2,661	11,367
法人税等	3,351	2,147
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△689	9,219
少数株主利益	641	652
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,330	8,567

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△689	9,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,186	5,174
繰延ヘッジ損益	△6,056	7,203
為替換算調整勘定	△8,569	9,455
在外関係会社の年金債務調整額	18	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	2,729	4,344
持分変動差額	△282	—
その他の包括利益合計	△24,346	26,130
四半期包括利益	△25,035	35,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,019	33,558
少数株主に係る四半期包括利益	△16	1,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	一般貨物輸送事業			不定期 専用船 事業	その他事業			計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		客船事業	不動産業	その他 の事業			
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	133,951	18,504	87,167	208,393	8,667	2,234	18,678	477,597	—	477,597
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,906	1,823	728	234	—	312	25,140	32,146	△32,146	—
計	137,857	20,328	87,896	208,627	8,667	2,547	43,819	509,744	△32,146	477,597
セグメント利益 又は損失(△)	△845	△712	1,224	5,184	△1,232	1,013	190	4,822	2	4,824

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整です。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	一般貨物輸送事業			不定期 専用船 事業	その他事業			計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		客船事業	不動産業	その他 の事業			
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	144,546	18,617	103,877	230,299	10,848	2,206	18,074	528,470	—	528,470
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,959	1,536	848	194	—	250	27,874	34,663	△34,663	—
計	148,506	20,153	104,726	230,493	10,848	2,457	45,948	563,133	△34,663	528,470
セグメント利益 又は損失(△)	△632	△2,430	597	13,214	△548	931	331	11,462	2	11,465

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整です。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける経営方針並びに組織管理体制の見直しに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「ターミナル関連事業」については「定期船事業」に含めて表示する方法に変更し、また、一部の連結子会社の事業セグメントを「定期船事業」から「不定期専用船事業」に変更しています。
なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しています。

4. その他の情報

(1) 四半期毎の業績の推移

平成26年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成26年1月1日 至平成26年3月31日
売上高	百万円 528,470	百万円	百万円	百万円
営業利益	6,751			
経常利益	11,465			
四半期純利益	8,567			
1株当たり四半期純利益	円 5.05	円	円	円
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	-			
総資産	百万円 2,484,904	百万円	百万円	百万円
純資産	730,864			
1株当たり純資産	円 401.47	円	円	円

平成25年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年1月1日 至平成25年3月31日
売上高	百万円 477,597	百万円 466,439	百万円 462,415	百万円 490,649
営業利益	6,872	11,007	-2,119	1,674
経常利益	4,824	8,258	2,236	2,416
四半期純利益	-1,330	-2,818	7,322	15,723
1株当たり四半期純利益	円 -0.78	円 -1.66	円 4.32	円 9.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	-	-	-	-
総資産	百万円 2,116,078	百万円 2,154,255	百万円 2,277,335	百万円 2,430,138
純資産	587,595	587,605	632,409	697,979
1株当たり純資産	円 321.33	円 321.40	円 346.39	円 383.50

- (注) 1. 上記各四半期毎の業績(売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益)は、第1四半期連結累計期間、6ヶ月間累計(第2四半期連結累計期間)、9ヶ月間累計(第3四半期連結累計期間)、12ヶ月間累計(通期)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しています。
2. 前第1・第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がなく、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。
3. 前第3・第4四半期及び当第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載していません。

(2)為替情報

	前第1四半期 (平成24年6月期)	当第1四半期 (平成25年6月期)	差額	前期 (平成25年3月期)
期中平均レート	80.77円/US\$	97.72円/US\$	16.95円 円安	82.33円/US\$
期末レート	79.31円/US\$	98.59円/US\$	19.28円 円安	94.05円/US\$

(3)燃料油情報

	前第1四半期 (平成24年6月期)	当第1四半期 (平成25年6月期)	差額	前期 (平成25年3月期)
消費燃料油単価	US\$716.78 /MT	US\$643.46 /MT	US\$73.32 安	US\$673.27 /MT

(4)有利子負債残高

(単位：百万円)

	前期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成25年6月期)	増減	前第1四半期 (平成24年6月期)
借入金	1,038,933	1,043,131	4,197	846,673
社債	245,445	245,445	-	260,445
リース債務	7,812	7,938	125	7,663
合計	1,292,191	1,296,514	4,323	1,114,782